

代表質問の扱いについて

(1) 現在の先例による取り扱い(参考)

※先例 第7章 質問 第2節 代表質問 (8) 裏面参照

代表質問・一般質問の上限時間 14時間 840分

➤ 代表質問 (120分 × 5会派 = 600分)

➤ 一般質問

10分 × 人数分 を会派に配分 ※議長及び監査委員の2人分は調整分扱

会派配当分 10分 × 21人 = 210分

調整分 10分 × (議長・監査委員・残時間) 30分

会派	代表質問		一般質問〔240〕			計
のぞみ	120	*	110	10分×11人	調整分	230
みらい	120	*	30	10分×3人		150+α
公明	120	*	30	10分×3人		150+α
市民パ	120	*	20	10分×2人		140+α
共産	120	*	20	10分×2人		140+α
計	600		210		30	840

*はユニットの扱い

(2) 構成議員2人の会派の代表質問の扱い及び関連質問について
各会派(案)

会派	2人会派の対応			関連質問
	代表質問	一般質問割当時間		
会派のぞみ	認める	80分	あり	行わない
会派みらい	認める	120分	なし 先例(6)による	検討中
公明党	認める	80分	なし	行わない

※先例 抜粋

第7章 質問

第2節 代表質問

(8) 代表質問は、次のとおり運用する。これに伴い、前(7)の先例は廃止する。

ア 代表質問と一般質問の合計上限時間は、概ね14時間とする。

イ 各会派への割当て時間は、1会派当たり2時間以内（答弁時間を含む。）とする。

ウ 代表質問の全体所要時間は10時間を上限とし、残りの4時間で一般質問を行う。

エ 会派（無会派議員を含む）への割当て時間は、1人当たり10分×会派（無会派議員を含む）所属人数を基本とする。

オ 調整分の10分、議長の10分及び監査委員の10分の合計30分を、議長及び監査委員の選出会派以外の会派（無会派議員を含む）へ配分する。

カ 代表質問及び関連質問を全て終了した後に、一般質問を行う。

キ 各会派は、代表質問及び一般質問の時間として割り当てられた合計時間の枠内で、どちらにどれだけ充てるかを定めることができる。（これを「ユニット方式」という。）

ク この先例は、平成21年第4回定例会から実施する。

(平成21年8月24日議会運営委員会決定)

平成29年度 議会報告会開催要領 (案)

1 趣旨

飯田市自治基本条例に規定されている、「開かれた議会運営」また「議会への市民参加の推進」を果たすための取組と位置付け、議会報告会を起点に市民の声を政策づくりに反映できるように取り組むことを目的とする。

2 主催/共催

飯田市議会/各地区まちづくり委員会

3 時期

平成29年10月4日(水)～12日(木)

4 内容及び時間

テーマ「平成29年度議会報告会 ～市民の声が反映できるまちを目指して～」

会議/時間	内 容
<p>全体会 19:00-19:15 〔15分間〕</p>	<p>※ 総合進行〔広報広聴副委員長〕 開会のことば〔副議長〕 議長挨拶〔議長〕 議会の取り組みの説明〔広報広聴委員長〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治基本条例の制定と飯田市議会の議会改革の流れ (自治基本条例の配布) 議会報告会と行政評価について (パワーポイントで説明) <p style="text-align: right;">全体会終了後、分科会会場に移動</p>
<p>分科会 19:20-20:40 〔80分間〕</p>	<p>時間配分は分科会ごと正副委員長にお任せする。</p> <p>第1部〔常任委員会報告〕 [昨年度は概ね30分程度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告会開催前1年間の定例会における主な議案審査状況報告 (議会だより 委員会ページ利用) 平成28年度の議会報告会における市民意見等に基づく調査研究結果の報告、回答 行政評価における市民意見等の反映状況報告 <p>第2部〔分科会ごとの意見交換会〕 [昨年度は概ね50分程度]</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマに基づく意見交換 <p style="text-align: right;">分科会終了後、全体会会場へ移動</p>
	<p>第1分科会(総務委員会)</p> <p>テーマ「あなたは、地域とどのように関わっていきますか」 <<地域活動に関わる悩みをお聞かせください>></p> <ul style="list-style-type: none"> 女性が地域で活躍するためには 消防団や公民館などの活動について
	<p>第2分科会(社会文教委員会)</p> <p>テーマ「子育てに最適な地域とは」</p>
	<p>第3分科会(産業建設委員会)</p> <p>テーマ「10年後のリニア時代を見据えて、飯田市への人の流れをつくるためにIIDAブランドをどう磨いていくか」</p>

全体会 20:45-21:00 (15分間)	まちづくり委員会代表挨拶 (感想、御意見等) 分科会の概要及び謝辞 (議長) 閉会のことば (副議長)
-------------------------------------	---

5 開催日程等

ブロック	地区	開催日	会場
竜東	下久堅・上久堅・千代・龍江	10月4日(水)	下久堅公民館
北部	座光寺・上郷	10月5日(木)	座光寺公民館
西部	三穂・山本・伊賀良	10月6日(金)	伊賀良公民館
遠山	上村・南信濃	10月10日(火)	上村コミュニティセンター
飯田5地区	橋北・橋南・羽場・丸山・東野	10月11日(水)	飯田市役所
中部	松尾・竜丘・川路・鼎	10月12日(木)	鼎公民館

- (1) 全議員が全てのブロックへ出席し、所属する常任委員会に関する分科会に参加する。
- (2) 事務局は6ブロック全てに出席する。(分科会への出席は担当者)
- (3) 都合で欠席する場合は、委員長又は事務局へ必ず連絡を行う。
- (4) まちづくり委員会向けの開催要領にも出席する議員名を記載し事前に周知する。
- (5) まとめの全体会において、まちづくり委員会の代表1人から感想、御意見等の言葉をいただく。どなたに行っていたかかは、まちづくり委員会で調整を依頼する。

6 当日の役割分担 (記録係の担当ブロックは委員会で調整)

分科会	担 当 議 員	
第1分科会 [総務委員会]	説明	(委員長) 湊 猛
	進行	(副委員長) 木下 容子
	記録	塚平 一成 (飯田)、小林 真一 (遠山)、木下 徳康 (西部)、 後藤 荘一 (中部)、木下 克志 (北部)、井坪 隆 (竜東)
第2分科会 [社会文教委員会]	説明	(委員長) 福沢 清
	進行	(副委員長) 山崎 昌伸
	記録	清水優一郎 (), 古川 仁 (), 永井 一英 (), 新井信一郎 (), 吉川 秋利 ()
第3分科会 [産業建設委員会]	説明	(委員長) 湯澤 啓次
	進行	(副委員長) 熊谷 泰人
	記録	岡田 倫英 (), 竹村 圭史 (), 福澤 克憲 (), 村松まり子 (), 原 和世 ()

※ 原則として、分科会における「説明」は常任委員長が、「進行」は副委員長が担当し、「記録係」は委員会毎に担当ブロックを分担する。

- (1) 会場への集合時間は原則18時とし、会場準備を行う。委員会で事前に会議や準備をする場合は、準備終了後に短時間で行うこととする。
- (2) 会場準備は、受付設営、看板の掲示、机椅子の配置、分科会の案内表示等を行うとともに、受付時には、受付簿の記載、資料・アンケートの配布などを協力して行う。
- (3) 分科会の進行及び説明は正副常任委員長が担当し、分科会の記録は「記録係」が担う。
- (4) 記録の担当となった議員は、市民から出された意見、要望、提言などの要点を簡条書きで記録するとともに、報告会終了後一週間以内に「議会報告会記録書」を事務局へ提出する。
- (5) 分科会における意見交換会用の資料については、当該常任委員会の判断で、当日配布する。

- (6) 副委員長は、意見交換会の主な意見（要旨）を3つ程度箇条書にしたメモを、分科会後の全体会の前に議長に手渡す。※わかりやすく整理したメモにする。
- (7) 議長は分科会後の全体会において、分科会からのメモに基づき分科会の様子を紹介する。

7 市民から出された意見等への対応と取扱い

- (1) 二元代表制としての議会の役割を発揮できるように心がける。
- (2) 受付時に資料とともにアンケートを配布し、後日集計を行いまちづくり委員会に報告する。
- (3) 分科会では、常任委員会ごと活動報告を行い、内容に対する意見・要望を出してもらう。
- (4) 常任委員会における「調査・研究」の経過報告については、議会報告会における委員会活動報告の中で行う。
- (5) 分科会における意見交換会は、結論を出す場ではなく、課題等を共有する場と位置づけ、意見や感想等を出してもらう。
- (6) 市の執行機関に対する質疑については、基本的には聞き置き、要望、意見については執行機関に伝える。
- (7) 議会に対する質問については、可能な限り議会として責任を持って回答する。また、議会に対する意見、要望は全ブロック取りまとめ、後日、まちづくり委員会へ報告する。
- (8) 議会としてこれまでに議決した案件や確認してきている事項等については、会派や議員個人の見解は避け、議会を構成する一員として良識ある言動に努めるものとする。
* リニアに関する意見・要望への対応「リニア中央新幹線に関する現状について把握するため、市議会では特別委員会を設置して、市側からリニアに関連する工事や整備に関する計画や事業の進捗状況等について報告や説明を受け、市議会としても調査研究し、必要に応じて提言している。市民の皆さんからの意見、要望等については広く伺いながら、特別委員会での審議や、市への提言の中で市民の声として反映していきたい」という立場で臨む。
・ 詳細な工事進捗については、飯田市の説明を聞いていただくようにする。要望については、回答せずに伺う。意見交換会でどうしても説明が必要な場合、各常任委員会に所属する、リニア推進特別委員会の委員が、委員会での審議状況等話せる範囲での説明を行う。
- (9) 意見交換会における意見等の中から「問題発見」を行い、所管の委員会において、特に取り上げて解決すべきものや実現すべき問題を「課題設定」する。その上で、「調査・研究」の対象としたものについては、「問題分析」をして政策立案につなげる。
- (10) 課題設定をした意見等の中で、調査・研究は行わないものの、「引き続き、情報収集に努める」としたものについては、行政評価や予算審査、決算審査において市に質すものとしてとして組み入れる。
- (11) 市民から出された意見・要望・提言等のその後の取扱結果については、各まちづくり委員会へ報告し情報の共有化を図っていく。

8 分科会会場及び駐車場について

(1) 分科会会場 【開催日順】

ブロック	会場	全体会	第1分科会	第2分科会	第3分科会
竜東	下久堅公民館	大会議室	大会議室	研修室 (2階60名)	学習室 (1階20名)
北部	座光寺公民館	大会議室	大会議室	麻績会館 (和室)	2階麻績の間 (和室)
西部	伊賀良公民館	講堂	講堂	大会議室	第1会議室
遠山	上村コミュニティ センター	大会議室	大会議室	研修室	和室
飯田5地区	飯田市役所 C棟	C311～313 会議室	C311～313 会議室	市民サロン	C211 会議室
中部	鼎公民館	学習展示室 (3階)	学習展示室 (3階)	大会議室 (4階)	講義室 (3階)

※分科会会場は変更する場合がある。

(2) 駐車場

ブロック	場所
竜東	下久堅公民館駐車場 (旧下久堅公民館前・下久堅診療所 駐車場)
北部	座光寺公民館駐車場 (麻績の館 駐車場)
西部	伊賀良公民館駐車場 (公民館第2駐車場)
遠山	上村コミュニティセンター駐車場 (議員はマイクロバス移動)
飯田5地区	飯田市役所 駐車場 (市役所前 大型バス駐車場)
中部	鼎公民館駐車場 (鼎自治振興センター 駐車場)

*参加する市民の皆さんに会場に近いメインの駐車場を使ってもらえるようにする。

*会場周辺の駐車場は、借用する状況により調整が必要。

9 分科会へ出席するための目安

(1) 第1分科会 (総務委員会)

所管部署	分野	まちづくり委員会・団体等 (目安)
○総務部 ○総合政策部 ○市民協働環境部 ○危機管理室 ○選挙管理委員会 ○監査委員	○地域自治 ○男女共同参画 ○環境 ○防災 ○交通安全 ○選挙	○自治・地域振興関係委員会 ○生活安全関係委員会 ○飯田市消防団 ○日赤奉仕団 ○環境関係委員会など

(2) 第2分科会 (社会文教委員会)

所管部署	分野	まちづくり委員会・団体等 (目安)
○健康福祉部 ○病院事業 ○教育委員会	○保健 ○福祉 ○介護 ○医療 ○学校教育 ○公民館	○健康福祉関係委員会 ○民生児童委員 ○福祉関係団体 ○公民館 ○小中学校PTA ○青少年健全育成関係委員会 ○保育園・認定こども園保護者 会など

(3) 第3分科会（産業建設委員会）

所管部署	分野	まちづくり委員会・団体等(目安)
<input type="checkbox"/> リニア推進部 <input type="checkbox"/> 産業経済部 <input type="checkbox"/> 建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道局 <input type="checkbox"/> 水道局 <input type="checkbox"/> 農業委員会	<input type="checkbox"/> リニア中央新幹線 <input type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 労政 <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 商業 <input type="checkbox"/> 工業 <input type="checkbox"/> 市街地活性化 <input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 土木 <input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 都市計画 <input type="checkbox"/> 公園管理・道路愛護 <input type="checkbox"/> 上下水道	<input type="checkbox"/> 自治・地域振興関係委員会 <input type="checkbox"/> 財産区など

10 当日準備品

レジュメ、配布資料、アンケート、受付簿、次第書、看板、筆記用具、カメラ、ICレコーダー、名札、分科会テーマの看板、問答例など
 ※分科会配布資料は各担当により準備

11 その他

- (1) まちづくり委員会向けの開催要領を作成するとともに、まちづくり委員会連絡会議において協力を依頼する。
- (2) まちづくり委員会以外の各種団体に向けた参加を依頼する。
 飯田市女性団体連絡協議会、飯田市消防団、市内小・中学校PTA、市内保育園・認定こども園保護者会、飯田市勤労者協議会、高校・飯田女子短大、日本赤十字奉仕団（参加者数が少ない女性や若い世代・子育て世代に向けた取り組み）
- (3) 議会報告会の周知については、ブロック別チラシを作成し組合回覧により参加を呼びかける。（広報いいだ9月15日号と一緒に配布時期を予定）
- (4) 議員が報告会開催のチラシを配布する。（自主的な活動）
- (5) 議会報告会用の資料は別途作成し、当日、参加者へ配布する。
- (6) 市議会ホームページに、分科会意見交換会のテーマに関する資料等を事前に掲載する。
- (7) 分科会への参加人数のバランスについては、自治振興センターの所長と調整し配慮する。（まちづくり委員会を通じて出席してもらう方について願います）
- (8) 議会報告会終了後は、各委員会で報告会の反省・総括を行うとともに、各分科会での意見や参加者アンケートを踏まえ、年度内に平成30年度の開催方針を決定する。

12 分科会意見交換会におけるテーマについて ※各委員会で調整中

第1分科会（総務委員会）

テーマ	<p>「あなたは、地域とどのように関わっていきますか」 <<地域活動に関わる悩みをお聞かせください>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が地域で活躍するためには ・消防団や公民館などの活動について
テーマに係る課題（背景）	<p>○ 飯田市自治基本条例が施行されて10年の節目を迎えるにあたり、各地区の地域自治の実情把握に努める。市民の暮らしに直結する地域自治は、住民の価値観の多様化などにより地域活動への参加者の減少、役員のなり手不足、地域コミュニティの維持そのものが危ぶまれる状況にあります。しっかりと住民の悩みを聴き、今後の飯田市の運営のために議会が住民と共に行政と地域のあり方を考えていきたい。</p>
意見交換会で話し合いたい点	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の自治組織の役員を引き受けての悩み、役員は引き受けていないが、よく耳にする課題はどんなことがあるか 2 女性が地域活動をするにあたり、どのような課題があるか 3 地域の自治組織（自治会、組合、公民館、その他の団体）の運営について

	<p>て、「こうしたら良いのではないか」といった思いや考え方についてどのようなことがあるか</p> <p>4 自治振興センター（あるいは市役所）と一緒に考えたいことはありますか</p>
--	--

第2分科会（社会文教委員会）

テーマ	「子育てに最適な地域とは」
テーマに係る課題（背景）	<p>○国全体では平成20年をピークに人口減少が明らかとなり特に子どもが少なくなった。平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が本格スタートした。</p> <p>○飯田市でも平成27年度から「子ども子育て支援法」に基づく「飯田市子ども・子育て支援事業計画」策定し、推進している。</p> <p>○各種子育てサービスの拡充に取り組み、その水準は県内でもトップクラスとなっている。また飯田市の合計特殊出生率は全国的にもトップクラスとなっている。</p> <p>○平成29年度より、保護者や地域の方が学校の運営に参画し、学校・保護者・地域の方が協力して学校をつくりあげていく「飯田コミュニティスクール」が、市内全小中学校で本格的にスタートした。</p> <p>○生まれてから育て学ぶまで切れ目のない支援体制を作り、飯田市の魅力を一段と高めるために、市民の皆様のご意見を伺いたい。</p>
意見交換会で話し合いたい点	<ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニティスクールと地域のかかわりについて 2 児童館、児童クラブについて 3 保育料の軽減について 4 子育て体験から行政の子育て環境を考える 5 ワークライフバランスの普及はどうか

第3分科会（産業建設委員会）

テーマ	「10年後のリニア時代を見据えて、飯田市への人の流れをつくるためにIIDAブランドをどう磨いていくか」
テーマに係る課題（背景）	<p>○10年後のリニア中央新幹線開業、三遠南信自動車道全通を見据え、本年4月から飯田市の総合計画「いいだ未来デザイン2028」の取り組みが始まりました。基本目標の一つに「飯田市への人の流れをつくる」ことを掲げ、戦略としてIIDAブランドの構築を目指して取り組みを進めています。</p> <p>○この地域を訪れる人を増やすためには、国内外から多くの人を惹きつける魅力づくりに今から着手する必要があります。魅力づくりの主役は、事業者や団体、地域、そして私たち市民一人ひとりです。</p> <p>○そこで、私たちの地域の魅力は何か、魅力を更に磨き上げて地域ブランドとするには何が必要か、市民の皆さんと意見交換する中で、議会から市側に提言できることを探ります。</p>
意見交換会で話し合いたい点	<ol style="list-style-type: none"> 1 私たちの地域の魅力は何か（飯田市全体で、各地区で） 2 魅力を更に磨き上げるには何が必要か（飯田市全体で、各地区で） 3 私たち市民は、行政はどう行動したらよいか

平成 28 年度決算認定に係る 施策評価等に関する提言(案)

※この提言案は 8 月 1 日に開催した各常任委員会での協議をまとめたものであり、
9 月に開催する各常任委員会での協議を経て、提言を行います。
したがって、この案が最終的な提言ではありません。

飯田市議会

評価対象の第5次基本構想後期計画施策及び該当「いいだ未来デザイン2028」の基本目標一覧表

政策	施策	評価対象	いいだ未来 デザイン2028 基本目標	政策	施策	評価対象	いいだ未来 デザイン2028 基本目標
多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	1-1 支え、育む産業基盤づくり	○	目標 ①	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり	5-1 緑の保全と創出		目標 ⑩
	1-2 未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	○	目標 ①		5-3 環境汚染の防止		目標 ⑩
	1-3 新しい力による新しい産業づくり	○	目標 ①		5-4 自然とのふれあいと環境学習の推進		目標 ⑩
	2-2 義務教育の充実	○	目標 ③		5-5 日常的な環境負荷低減活動の展開	○	目標 ⑩
	2-3 高等教育の充実		目標 ③		5-6 廃棄物の減量と適正処理		目標 ⑩
	2-4 家庭教育の充実		目標 ③		5-7 社会の低炭素化の推進		目標 ⑩
	2-5 共に歩む社会づくりの推進		目標 ⑨		6-1 地域資源の発見・資産化		目標 ④
	2-6 スポーツの振興		目標 ③		6-3 地域資産の保存・継承	○	目標 ④
	2-7 文化芸術の振興		目標 ④		7-1 地域情報・課題の相互理解の推進		目標 ⑧
	2-8 学習交流活動の推進		目標 ③		7-2 自立に向けた住民組織力の向上	○	目標 ⑧
地育力によるこころ豊かな人づくり	2-9 ふるさと意識の醸成	○	目標 ③	8-1 交流による高付加価値化・国際化の推進		目標 ②	
	3-1 心と体の健康づくり	○	目標 ⑥	8-2 三遠南信・中京圏の連携推進		目標 ②	
	3-2 医療の充実		目標 ⑥	8-3 計画的な空間利用の推進	○	目標 ⑫	
	3-3 共に支えあう地域福祉の推進	○	目標 ⑦	8-4 活気ある街づくりの推進	○	目標 ②	
	3-4 障害者福祉の推進		目標 ⑦	8-5 中山間地域振興の推進	○	目標 ⑧	
	3-5 高齢者福祉の推進		目標 ⑦	9-1 市民参画による協働の促進		目標 ⑨	
	3-6 生活困難者の自立及び支援		目標 ⑦	9-2 情報共有の促進	○	目標 ②	
	3-7 子どもを産み育てやすい環境の充実	○	目標 ⑤	9-3 良質な行政サービス提供	○	飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画	
	4-1 災害対策の推進		目標 ⑪	9-4 効率的、効果的な行財政運営			
	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり	4-2 交通安全の推進		目標 ⑪	* 第5次基本構想後期計画の全42施策のうち22施策を評価		
4-3 地域安全の推進			目標 ⑪	(内訳 総務委員会:5 社会文教委員会:8 産業建設委員会:9)			
4-4 交通機関と道路の充実		○	目標 ⑫	* 「いいだ未来デザイン2028」の12の基本目標及び個別計画「飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画」に対して提言。			
4-5 居住基盤の向上		○	目標 ⑪				

委員会別 評価施策及び提言対象「いいだ未来デザイン2028」基本目標

第5次基本構想 後期基本計画施策		いいだ未来デザイン2028基本目標
総務委員会	7-2自立に向けた住民組織力の向上	基本目標⑧ 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる
	8-5中山間地域振興の推進	
	2-5共に歩む社会づくりの推進	基本目標⑨ 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する
	5-5日常的な環境負荷低減活動の展開	基本目標⑩ 豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる
	9-3良質な行政サービスの提供	【個別計画】 飯田市行政改革大綱に基づく実行計画

第5次基本構想 後期基本計画施策		いいだ未来デザイン2028基本目標
社会文教委員会	2-2義務教育の充実	基本目標③ 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	2-9ふるさと意識の醸成	
	2-7文化芸術の振興	基本目標④ 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす
	6-3地域資産の保存・継承	
	3-7子どもを産み育てやすい環境の充実	基本目標⑤ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	3-1心と体の健康づくり	基本目標⑥ 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
	3-3共に支えあう地域福祉の推進	基本目標⑦ 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
3-6生活困難者の自立及び支援		

第5次基本構想 後期基本計画施策		いいだ未来デザイン2028基本目標
産業建設委員会	1-1支え、育む産業基盤づくり	
	1-2未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる
	1-3新しい力による新しい産業づくり	
	8-4活気ある街づくりの推進	基本目標② 飯田市への人の流れをつくる
	9-2情報共有の促進	
	4-1災害対策の推進	基本目標⑪ 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める
	4-5居住基盤の向上	
	4-4交通機関と道路の充実	基本目標⑫ リニア時代を支える都市基盤を整備する
8-3計画的な空間利用の推進		

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>7-2 自立に向けた住民組織力の向上</p>	<p>基本目標⑧ 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる</p>
<p>【施策全体の評価】 C あまり進まなかった理由・第5次基本構想後期基本計画の取り組みの数字は上がっているが、地域の自治が本当に進んでいるか。「やらされ感」が強いのではないか。</p> <p>【課題認識・方向性(有効策)】 概ね正しい。但し、「地域住民の自発性の意識」が根付いていないとは言えないことを課題として挙げているが、同時に施策の根本的な課題ではないか。自治組織の役員参加の検証が多く、役員が負担を感じている。地域自治組織の活動の検証ができていない。その他の住民団体を巻き込んで、その活動に取り組む傾向が見込まれるとあるが、見込める状況にないと考える。</p> <p>・ 施策の方向性が見えにくく、根本的な課題解決になっていない。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治組織の役員の負担増、疲弊感があり自主的活動ができない。 地域協議会委員とまちづくり委員会の役員が重複している例が多い、地域協議会が形骸化しているのではないか。まちづくり委員会と地域協議会の関係を地域協議会の在り方も含め検証が必要。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民満足度の計測とその検証。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の満足度を計測する仕組みを検討願いたい。 まちづくり委員会と地域協議会の役割の明確化、検証を実施されたい。 地域自治を守り育むための仕組みづくりを研究する中で、併せて市役所の在り方(役割)にも取り組まれたい。 市の方針、自治のあるべき姿を説明し、地域と共に学ぶとともに、住民組織の実情を語り合い、住民組織と一緒に becoming 課題解決にあたる姿勢(市政)に務められたい。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>8-5 中山間地域振興の推進</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ理由・人口減少率の改善は見られないが、地域おこし協力隊の新規導入や地域振興住宅整備により一定の評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標に表れない地域の意欲的な取り組みは、大いに評価できる。 <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定住人口の増加を目標とする。（定住人口の増加が見込めないので方向を見直すべきという意見もあった。） <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域振興も大切だが、地域住民が安心できる生活環境の整備。 ・ 中山間地域での体験修学旅行受入農家の高齢化が進んでいる。 ・ 中山間地域への取組が、他の自治体と同じような取り組みになっていない。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「外からの目」による地域の検証。 ・ 中山間地域7地区の各種団体相互の連携。 ・ 他の自治体と差別化を図る取り組み。 ・ 市の現在進めている施策は他の自治体と同じようではあるが、これを尚一層充実させる。 ・ 現在住んでいる住民の生活環境の維持。 	<p>基本目標③ 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域おこし協力隊の取組は、地域が元気になる。飯田市独自の「地域おこし協力隊」や「集落支援員」への設置に取り組みきたい。 ・ 中山間地域の「農業」を軸として、その発展性、可能性を広域連合及び地域（地元）とともに研究を進められたい。 ・ 中山間地域がいかに元気になるのか、成果をみられる指標を検討されたい。 ・ 中山間地域の魅力を「客観的に再発掘」する仕組みづくりに取り組みたい。

<p>第5次基本構想 後期基本計画施策の評価</p> <p>2-5 共に歩む社会づくりの推進</p>	<p>「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言</p> <p>基本目標⑨ 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する</p>
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ（Cの評価もあり）理由・人口減少が進んでいるが、中心的役割を担う関係団体の活動が活発であり、また、多文化共生も着実に浸透してきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第5次基本構想後期基本計画の取り組みにおいて、女性委員の割合が上昇したことは評価する。 反面、女性に負担がかかっている事例が見受けられた。 <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「共に歩む社会づくりの推進」というものの、地域や家庭にある「負の役割意識（分担）」。 女性も「一個人」としての自覚と意識を持ち、社会参加できる社会にはほど遠い。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や家庭に残っている負の役割意識、慣習やしきたりの見直し（人権教育）。 女性の活躍推進を目的とした市民意識の向上を図るための社会の土壌・環境づくりの全市的な取り組みの実施。 環境の変化にあった市民意識の向上・改革を図るための取り組み。 若年層の地域づくりへの参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本目標9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する」の戦略に「女性」の文字がない。「誰もか」という言葉ですべてを包含するようだが、「女性」の文言を入れられたい。 あらゆる場面への女性が参画できる・するために「何をすべきか」について研究を進められたい。 市民に対して、「共に歩む社会づくり」のための学習の場（慣習やしきたりの見直しも含めて）の提供に努められたい。 外国人住民が飯田市内で生活するための知識や常識を習得し、かつ居住している地域のことを学習しながら地域住民と交流を進められる場の創出を検討されたい。 公共施設の多言語表記による外国人対応をさらに進められたい。

平成28年度決算認定に係る施策評価等に関する提言

【総務委員会】

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
5-5 日常的な環境負荷低減活動の展開	
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ理由・成果指標的には(A)、環境モデル都市として大枠で見るとポイ捨てが多いのでB。 ・市民レベルは進んだが、事業所の取り組みはどうか。</p> <p>【課題認識・方向性(有効策)】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の意識に訴える政策の推進。 ・新しい再生可能エネルギー対策。 ・ごみのポイ捨て。 ・低炭素。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる環境学習。 ・「見る」ことで学習できる施設を結びつけてエネルギーパークとし、環境に対する意識向上につなげる。 ・住民の意識改革をさらに進める。 ・環境保全型農業のさらなる推進。 	<p>基本目標⑩ 豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てに対する市民のモラル向上に努められたい。 ・新たな再生可能エネルギーの検討をされたい。 ・環境意識を醸成する人づくり・地域づくりを進められたい。 ・住民意識を高いレベルで維持、推進していくために、基本目標の実現に向けた、短期・中期・長期のプランニングを進められたい。

施策全体の評価 A:進んだ B:ある程度進んだ C:あまり進まなかった D:進まなかった

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>9-3 良質な行政サービスの提供</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ理由・ワンフロア一・ワンストップサービスのめざしたこと、職員コンシェルジュ宣言等市民対応への意識の向上への取組が評価できる。 ・ 但し、市民の評価対象が、庁舎の受付委託業者の対応か、職員の対応か不明確であり、一概に職員の行政サービスの向上したとは言いがたい。 ・ 「市民ニーズに合った行政サービスを提供」という表現が、具体性に欠ける。 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】 ・ 研修は机上だけでなく、市民の生活のある現場の研修も必要。市民に寄り添い、市民のその時のニーズを汲み取る力の向上。 ・ 職員が「全体の奉仕者」という意識を保持しているか。 ・ 組織的な情報の共有化。 ・ 職員のモラルが求められているが、短期間に交通違反が数件発生するなど全員に徹底されていない。 【別の視点からの取り組み】 ・ 自治振興センターや公民館（現場）で経験を積むという意図を持つ人事。 ・ 市民の不満点の掘りおこし。</p>	<p>【個別計画】飯田市行政改革大綱に基づく実行計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「飯田市行政大綱に基づく実行計画」の「良質な行政サービスの提供」部分については、毎年評価をされたい。 ・ 子供から大人まで理解しやすいように、できるだけ行政用語を多用しない対応能力の向上に努められたい。 ・ 行政サービスのさらなる向上に努められたい。 ・ 市民意識調査以外にも、来庁者に対してアンケートをとるなど、現状を把握しやすい調査を実施されたい。 ・ 今後リニア関連事業の推進にあたり、市民に寄り添った市政の実行と、リニアビジョン実現に向け、職員の適正配置は、より一層確実に取り組まれたい。 ・ 変化の激しい市民生活に機敏に対応できる職員の育成を進められたい。 ・ 目指す職員像を明確に描かれたい。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>2-2 義務教育の充実</p> <p>【施策全体の評価】 A 進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校ごとの飯田らしいコミュニティスクールの構築。 ・ 支援が必要な児童生徒が増えていることへの対策。 ・ ICT教育を生徒、そして教師にとって有効な手段とすることができる。 ・ 小学校における英語教育の円滑な導入。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保小連携の具体的推進。 ・ コミュニティスクールは、地域の主に高齢者が対象になることが想定されるが、高校生や大学生との交流も必要。 ・ 不登校の対策として、経験豊富な教員の手厚い配置などが必要。 ・ ICT教育、コミュニティスクール共に、教職員の関わり方がカギを握っている。教職員の意識の持ち方も含めた、レベルの統一を図れるような対策が必要。 ・ 本格化するICT教育を飯田市でどう生かしていくか。 	<p>基本目標③ 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地等それぞれの地域事情に適応した学校づくりに取り組まれたたい。 ・ ICT教育の推進におけるマイナス面・弊害部分に対する理解と対策に取り組まれたたい。 ・ 教職員への負担増大が予想されるなか、支援の拡充を進められたたい。 ・ コミュニティスクールによる公民館等地域との連携に加え、高校生や大学生を加えた交流を検討されたたい。 ・ LG飯田教育の研究を進め、具体的な事業として取り組みられたたい。 ・ 学校の部活動については、当事者の声を反映させるよう取り組みられたたい。 ・ 不登校対策の充実を図られたたい。

<p>第5次基本構想 後期基本計画施策の評価</p>	<p>「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言</p>
<p>2-9-9 ふるさと意識の醸成</p> <p>【施策全体の評価】 C あまり進まなかった理由・成果指標の傾向が芳しくなく、目標値に届いていない。</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生アンケートによる、地域への愛着と住み続けたい意思との落差への対策（アンケートの取り方の一考の余地あり）。 ・ ふるさと学習等のための情報システムの整備。 ・ 体験を通してふるさとに愛着を持つ施策（コミュニティスクールと連携した取り組み）。 <p>【別の視点からの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生に地域の祭や行事に積極的参加を促す。 ・ 「地域人教育」の水平展開。 ・ 高校生をもつ親のふるさと意識の醸成。 	<p>基本目標③ 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生・高校生を中心に、地域の祭・行事に参加することを推進する取り組みを進められたい。 ・ 「地域を知るための副読本」を活用されたい。 ・ 飯田OIDB長姫高校で行われている「地域人教育」の水平展開を進められたい。 ・ 市民の知的向上と地域の活性化につながるよう、学びたい時に身近に触れられる学べる環境整備に取り組みられたい。

<p>第5次基本構想 後期基本計画施策の評価</p> <p>2-7 文化芸術の振興</p>	<p>「いただいた未来デザイン2028 戦略計画」への提言</p> <p>基本目標④ 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす</p>
<p>【施策全体の評価】 C あまり進まなかった理由・成果指標の文化芸術活動を行っている人の割合が減少している。</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「文化芸術の振興」とは、どういう状態・レベルを目指そうとしているのか、具体像が見えない。 ・ 文化芸術の演じ手等の減少への対策。 ・ 文化芸術による都市間交流（リニア駅設置都市・三遠南信地域）。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つのホール施設が、今後どうなるか将来像を描く必要がある。 ・ 和太鼓・ダンスフェスなど、新たなジャンルへの取り組みが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化会館をはじめとする3ホール施設のあり方について、リニア時代に活かす、文化芸術の拠点となる施設の将来像を提示していくべきではないか。 ・ 「小さな世界都市」を標榜する中、その具体像は見えてこない。「小さな世界都市」の具体像を市民が知る機会として、平成30年度に開催されるAVIAMA総会、世界人形劇フェスティバルの開催を捉えて、外国向けの情報発信、外国人観光客の受け入れ態勢づくり、受け入れる市民意識の向上など、リニア時代を見据えた取り組みを進めてはどうか。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>6-3 地域資産の保存・継承</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存伝承の担い手の減少傾向への対策。 ・ 地域資産の活用は、個人団体だけでは難しい。バックアップし、コーディネートする体制づくりが必要。 ・ 情報発信力の弱さ。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存・継承に取り組むための拠点となるべき施設・エリアの整備を進める必要がある。 ・ 維持管理とともにその資産をどう活用していくかが課題となり、美博の学芸員、歴史研究所の研究員など専門知識を持った人材の育成が求められる。 ・ メディアや若い有名人を有効活用しての情報発信が必要。 ・ 古文書については、膨大な量となることが予想されるので、古民家とともに、保存の方向性を検討する必要がある。 	<p>基本目標④ 自然と歴史を守りいかに伝え、新たな文化をつくりだす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流人口を増やし、外貨獲得につなげるためにも、飯田の歴史・文化の保存・伝承に留まらず、効果的な情報発信に取り組みたい。 ・ 情報発信という意味からも、活動の拠点となる施設、エリアの整備が求められており、「地域振興の知の拠点」の整備に取り組みたい。 ・ 活用されることを前提とした視点が必要であり、活用するためには、地域資産をどう保存し、伝承していくことが有効であるか、地域資産の対象別に、保存・伝承方法について研究検討を進められたい。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>3-7子どもを産み育てやすい環境の充実</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療現場における医師会等各団体との連携。 ・児童クラブ等の実態把握による市民ニーズと市の計画との整合性確保。 ・ワークライフバランスについて、事業所などの地域における子育てへの理解・協力。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代のニーズを把握し、意見を反映させるための実態調査を行う。 ・妊娠・出産・育児・就学と切れ目のない支援体制の構築。 	<p>基本目標⑤ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相生市の「子育て応援都市宣言」、流山市の「母になるなら流山」といったキャッチフレーズと共に、具体的な数値も含めて当市が子育てに最適な地域であることを発信すべきではないか。 ・国が平成32年度末を目標とし、飯田市も進めようとしている「子育て世代包括支援センター」設置の早期実現を図る。 ・具体的施策 <ul style="list-style-type: none"> ① 第3子以降の保育料無料化に取り組むかどうか。 ② 子どもの健康を守るため、中学生などの食生活をチェックするとともに、血液（糖尿）検査を導入してはどうか。
<p>3-1心と体の健康づくり</p> <p>【施策全体の評価】 C あまり進まなかった 理由・国民健康保険の特定健康診査の受診率について、引用した国の目標に対し、その半分程度の30%台で推移していることから、 ◎評価は理解できず、進んだとは言えない。 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険の特定健康診査の受診率が、目標値に対して低い状況が続いており、上昇の兆しが窺えない。 ・心の健康の対策が不十分（具体的なものが見えてこない）。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データヘルス計画の活用。 ・心の健康に対する具体的事業への取り組み。 	<p>基本目標⑥ 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診査の結果などのデータベースを活用し、市民への「見える化」を進めることにより、市民の健康づくりに対する意識を上げるよう取り組むべきではないか。 ・特定健診の受診率向上に取り組むため、健康づくりを自治組織等の地域活動として取り組んでほしい。 ・高齢化すると男性の外出機会が減る傾向がある中で、諸活動への参加を促し、外出機会を増やすよう取り組んでほしい。

平成28年度決算認定に係る施策評価等に関する提言

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>3-3 共に支えあう地域福祉の推進</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報との兼ね合いもあり、住民支え合いマップが、実際に機能するのかが検証することが必要。 ・ 地域福祉における人材確保。 ・ 地域福祉計画の実行。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉相談窓口の一本化（市として全体の実態把握効果と市民に分かりやすいワンストップサービス）。 ・ 安心安全に暮らすため、地域における見守りに適する事業者との連携。 	<p>基本目標⑦ 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉コーディネーター等人材の育成に取り組みたい。 ・ マインバナー制度の地域福祉への利活用について検討をされたい。 ・ 安心安全に暮らすため、地域における見守りに適する事業者との連携に取り組みたい。
<p>3-6 生活困難者の自立及び支援</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活困難者の実態把握、分析。 ・ 就労支援・学習支援事業の導入。 ・ 福祉相談窓口の一本化（ワンストップサービス）。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉相談窓口の一本化（ワンストップサービス）。 ・ 各種依存症（ギャンブル・アルコール等）への予防策の充実。 	<p>基本目標⑦ 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉相談窓口の一本化（ワンストップサービス）を進められたい。 ・ 民生児童委員への支援策を検討されたい。 ・ 子どもの貧困の連鎖を断ち切るため、教育現場とのさらなる連携に取り組みたい。

<p>第5次基本構想 後期基本計画施策の評価</p>	<p>「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言</p>
<p>1-1 支え、育む産業基盤づくり</p> <p>【施策全体の評価】 C あまり進まなかった理由・産業団地が完売するなど、産業基盤づくり全体に向けた取り組み展開は評価できる。</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リニア、三遠南信自動車道開通による高速交通網時代を見据え、当地区の産業構造等への影響や、変化も見越した産業の基盤づくりも必要。（例えば、卸売団地を含めた流通や産業団地等を含めて考えていくことが必要。） 【別の視点からの取り組み】 ・ 産業経済政策における連携、補完性を高め、事業推進を図る観点のひとつとして、産業経済部の組織力、総合力を高めるための事務所のあり方を検証すべき。 	<p>基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「I-PORT」はインキュベート機能であると同時に、内貨循環を高める役割であることを前面に出すべき。設置がより広く認識されるとともに、しっかりと活用されるための体制づくりを進められたい。 ・ 企業誘致や、起業支援に繋がるよう、空き店舗等も含めたいわゆる産業用地に関する情報を整理し、発信していく体制づくりに取り組まれたい。 ・ 若者が帰ってこられる産業をつくることを目標とするならば、「若者の指向する産業（就職口）とは何か」を捉え、地域産業の実態との乖離等を勘案し、その上で政策的に何を支え、育むか取り組まれたい。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>1-2未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農林業従事者、技能労働者の高齢化や後継者不足などに伴う地域産業を担う人材の育成。 ・ 産業振興において、行政が支援することと事業者に頑張ってもらおうことの区分をどこに置くかは判断が難しい。その中で、現状の必要な支援を見定め、振興につなげていくことが大きな課題。 ・ リニア・三遠南信自動車道時代を見越した地域産業の魅力とは何か、差別感が出せる産業の魅力とは何かを求めていく視点が必要。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業出荷額の増加や、農産物の付加価値を高める視点からICT化の推進支援の取り組み。 ・ 高校生だけでなく、小中学校の頃から職に親しみ職業意識を育む取り組み。 ・ ものづくり高度人材育成事業は特定産業に偏りやすいので、汎用技術などの分野に門戸を広げるべきか。 	<p>基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業従事者の労働力の軽減や所得向上にむけ、学術機関などと連携し、農業のICT化について調査研究に取り組みきたい。 ・ 技能労働者の育成、後継者の確保の観点（空家の利活用の観点）から、在来工法家屋の修繕を奨励する施策に取り組みきたい。 ・ 農業後継者の育成特に、人材育成のための投資と農業後継者のネットワーク化など、魅力ある農業を目指す取り組みなどが必要か。

平成28年度決算認定に係る施策評価等に関する提言

【産業建設委員会】

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いただいた未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>1-3 新しい力による新しい産業づくり</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識】 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「リニア工事等のビジネスチャンスを活かす」は起業支援のみならず産業政策全般における課題 ・ 拠点整備事業については、より多くの人が活用できる施設とするため、市民への丁寧な情報発信と、移転施設の機能拡充が行えるよう県との調整を図ることが課題。 	<p>基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな産業振興の拠点形成が地域産業の高度化に繋がる具体的な施策を展開し、精密・電子・機械加工・金型技術などをベースにした新たなチャレンジに繋がる政策がないかを検証していくべきではないか。 ・ リニア工事等の進捗による産業界に与える影響について、何らかの検討が必要と考える。
<p>8-4 活気のある街づくりの推進</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活気ある街から価値ある街形成の観点が必要か。 ・ 中心市街地の機能が他の拠点地区と競合しないよう調整が必要。 ・ 第3期中心市街地活性化基本計画の策定に向けて、地域住民が一体となって考えるための手法の検討。 	<p>基本目標②「飯田市への人の流れをつくる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小さな世界都市」構築に向け、まずは案内標識などから、デザインコードの研究を進めてはどうか。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>9-2 情報共有の促進</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内から外への情報発信ばかりでなく、20地区それぞれが他地区の情報共有できているか。 市民が飲み込みやすいよう、情報の「質」の向上にも目を向ける。 市民が当たり前すぎず盲点の中に埋もれているものを情報発信する人の感性で「こんなところが飯田にはある」と発信していくことが必要では。 	<p>基本目標②「飯田市への人の流れをつくる」</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙媒体（広報いいだなど）と電子的情報（SNSなど）の使い分けを効果的に図る。特に紙媒体は限られたスペースでどのような情報を発信するのがベターなのかを精査。 また「暮らしの情報」と「政策の発信」はそれぞれの発信手段が適切かも精査し、一定のコスト負担を念頭に置きながら民間媒体に掲載する方法も検討を。 20地区での「田舎へ還ろう戦略」の取り組みが始まる今、地区での取り組み情報にあわせ、地区の魅力や、観光情報、学校行事など、各地区の情報を総合的に発信するようなコンテンツが必要ではないか。
<p>4-1 災害対策の推進</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーなど主導的役割を担える人材の有無は地域によって格差があり、地域の実情にあった育成強化が必要。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来を担う自主防災リーダーとして、防災士資格取得要件を満たした者に資格取得の促進とスキルアップするための場を設けることはもちろんのこと、女性防災リーダー育成など各地区において防災支援の一翼を担える体制づくりが必要である。 	<p>基本目標⑩「災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める」</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の防災訓練について、訓練のための訓練になっていないか、との声があることから、マニュアルなどの見直しも含め、それぞれの地区の実情に合った訓練の方法を、自主防災会などと協議し検討し、防災訓練のあり方を見直すことも必要では。

<p>第5次基本構想 後期基本計画施策の評価</p> <p>4-5 居住基盤の向上</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民満足度調査（成果指標）は掴み所がないところでは有るが、前年比6%減となった点に焦点を当て、その要因をつかむことから、さらなる展望を見いだせるのでは。 ・ 近年のゲリラ豪雨にみられるように、短時間で局地的な降雨により河川が一気に増水することが多くなってきているなか、道路側溝や農業井水の排水施設能力が追従していない箇所がまだまだ見受けられる。 ・ 事業推進の時代から維持管理へと事業がシフトしている中で、生活環境の保全および公衆衛生の向上を図るため、合併浄化槽設置後の適切な維持管理が課題。 	<p>「いただいた未来デザイン2028 戦略計画」への提言</p> <p>基本目標①「災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道事業は維持の時代に入っている。本格的な維持の時代を見越し、施設の維持管理（存続）に関しどのように対応していくか検討を始めるべきか。 ・ 生活環境の保全および公衆衛生の向上を図る視点から、合併浄化槽の維持管理に関し県との役割を明確にしつつ取り組むべきか。
<p>4-4 交通機関と道路の充実</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路、河川の維持整備は、市民の利便性の向上、危険性の回避の観点から市民要望も多い。要望の全体像の把握と、長期的な整備修繕の計画化（予算化）が求められている。 ・ 地域公共交通は、利用者の視点から見れば「便数が減る⇒不便になるから利用しない」という負のスパイラルを繰り返してきている。持続可能な地域公共交通を確実に実現する必要がある。 	<p>基本目標②「リニア時代を支える都市基盤を整備する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、リニア・三遠道関連の事業推進のために建設関連費が集中していく中、市民生活や安全にとって要望の高い道路・河川予算措置についてどのように住み分けていくのか一定の方向性を定め、地域全体の道路河川整備に不足が生じないことを考慮すべきか。 ・ 各自動車メーカーでは、自動運転システムの実用化に向け研究開発が進んでいる。リニアが開業する10年後を見据えて、自動運転による新交通システム活用に向けた研究を検討してはどうか。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>8-3 計画的な空間利用の推進</p> <p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険な空き家対策は所有者との接点が遠隔地居住等で難しい面もあるが、放置しておくことはできない課題である。一方で、利用可能な空き家についても、所有者の意向により中々UIターン者への貸出し等につながっていない。市民の利便性の向上、危険性の回避の観点から市民要望の全体像の把握と、長期的な整備修繕の計画化が求められる。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> リニア時代を支える都市基盤を整備していくにあたり、危険な空き家の解消は従来にも増して、解体費用の補助制度の検討など戦略計画をもっと対応していく必要がある。また、活用可能な空き家についても、UIターン者への貸出し等の促進が図られるための戦略計画をもっと対応していく必要がある。 	<p>基本目標⑫「リニア時代を支える都市基盤を整備する」</p> <ul style="list-style-type: none"> リニア駅を取り巻く周辺の土地利用方針策定において、立地適正化計画と併せ、地域に全て任せるのではなく、都市計画の視点から市側の考えを示し、行政も積極的に関わる。 外部からの交流人口増加を推進するための、市全域に渡るデザインコードについて検討を進めるべきか。